

13大都市における市民の暮らし（平成13年）

京都市総合企画局情報化推進室情報統計課

大都市統計協議会（各政令指定都市と東京都の統計担当課で構成している組織）が毎年刊行している「大都市比較統計年表」の平成13年版が、このほどまとまりましたので、この本の中から、市民の暮らしに係る主な指標について、京都市を中心に13大都市における状況を紹介します。

まず初めに、平成13年10月1日現在で13大都市における人口の基礎データを挙げると表-1のとおりです。13大都市の合計で、面積では国土総面積377,880.25 km²（国土交通省国土地理院）の1.76%を占めているにすぎませんが、人口では我が国の総人口（1億2729万0749人）の21.94%を占めています。（東京都の数値は、すべて特別都区部のみの数値です。）

ちなみに京都市は、面積では国土総面積の0.16%となり、人口では国の総人口の1.15%となっていま

す。

1 人口

- ますます進む世帯規模の縮小 -

平成13年10月1日現在での京都市の推計人口は146万7704人と、13大都市中7番目に人口の多い都市となっています。

また、平成13年の推計人口を平成12年国勢調査結果と比較しますと、京都市では人口が81人とわずかながら減少しています。他都市をみますと北九州市では人口が減少していますが、そのほかの都市は人口が増加しています。

京都市の人口性比（女性100人当たりの男性の数）は92.0で、女性の数が男性の数を上回っており、北九州市（89.6）、札幌市（90.9）、神戸市（91.2）に次いで、女性の割合が高い都市となっています。

表-1 13大都市における人口の基礎データ

都市名	面積 (km ²)	世帯数	人口	男	女	性比 (女=100)	平成13年10月1日現在	
							1世帯 当たり 人員	人口密度
京都市	610.22	626,879	1,467,704	703,419	764,285	92.0	2.34	2,405
札幌市	1,121.12	796,622	1,833,531	873,027	960,504	90.9	2.30	1,635
仙台市	788.09	426,915	1,014,268	498,228	516,040	96.5	2.38	1,287
千葉市	272.08	355,494	895,609	451,323	444,286	101.6	2.52	3,292
東京都	621.45	3,877,894	8,210,074	4,079,948	4,130,126	98.8	2.12	13,211
川崎市	144.35	556,256	1,266,611	657,943	608,668	108.1	2.28	8,775
横浜市	434.73	1,400,851	3,461,545	1,751,543	1,710,002	102.4	2.47	7,963
名古屋市	326.45	909,232	2,177,451	1,082,741	1,094,710	98.9	2.39	6,670
大阪市	221.59	1,186,293	2,609,289	1,277,260	1,332,029	95.9	2.20	11,775
神戸市	549.98	618,243	1,503,384	717,244	786,140	91.2	2.43	2,734
広島市	741.75	465,268	1,129,817	548,780	581,037	94.4	2.43	1,523
北九州市	485.09	411,674	1,008,657	476,720	531,937	89.6	2.45	2,079
福岡市	340.00	610,661	1,354,304	652,913	701,391	93.1	2.22	3,983
合計	6,656.90	12,242,282	27,932,244	13,771,089	14,161,155	97.2	2.28	4,196

これとは反対に、男性の数が女性の数を上回っている都市は、川崎市(108.1)、横浜市(102.4)、千葉市(101.6)の3都市となっています。

1世帯当たりの人員は、各都市とも減少が進み、最も少ないのは東京都の2.12人で、次いで大阪市(2.20人)、福岡市(2.22人)となっています。逆に、最も多いのは千葉市の2.52人で、次いで横浜市(2.47人)、北九州市(2.45人)となっており、京都市は2.34人で8番目となっています。

次に、1k㎡当たりの人口密度をみますと、大都市はすべて1千人を超えており、東京都と大阪市では1万人を、川崎市、横浜市、名古屋市では5千人を上回っています。平成12年の国勢調査結果と比較して人口密度が低下している都市は、北九州市の1都市のみとなっています。ちなみに京都市は平成12年の国勢調査結果と同じ2,405人で、13大都市中9番目となっています。

前ページの表 - 1 参照

(1) 出生率

- 京都市を含め9都市で低下 -

推計人口による人口1,000人当たりの出生率を前年と比較しますと、9都市が減少、4都市が増減に変化なしとなっており、増加した都市はありません。京都市は0.4ポイントの減少となっています。

出生率が高いのは、川崎市の11.0人を最高に、広島市(10.5人)、仙台市(10.0人)で、低いのは、東京都(7.9人)、札幌市(8.3人)となっています。京都市は8.7人で神戸市と並んで13大都市中10番目となっています。

図 1 及び 13 ページ参照

(2) 死亡率

- 4都市で上昇、京都市を含む3都市で低下 -

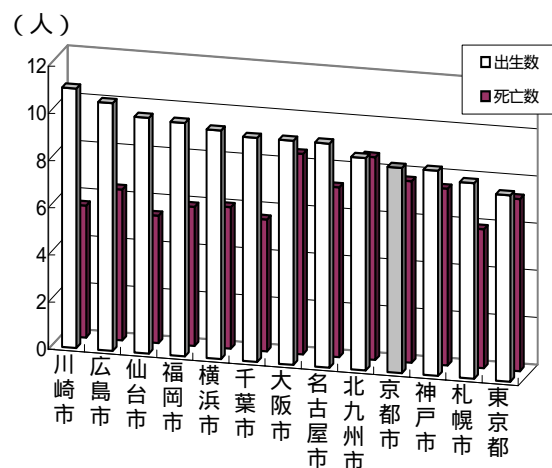
推計人口による人口1,000人当たりの死亡率を前年と比較しますと、千葉市、横浜市、名古屋市、広島市がそれぞれ0.1ポイントの上昇となっていま

す。京都市は0.2ポイント減、北九州市、福岡市が0.1ポイントの減となっています。その他の6都市については、増減に変化なしとなっています。

死亡率が一番高いのは北九州市で8.6人、以下、大阪市(8.5人)、京都市(7.7人)と続いています。一番低いのは仙台市(5.4人)で、以下、千葉市、川崎市が5.6人となっています。

図 - 1 及び 13 ページ参照

図 - 1 人口1,000人当たりの出生数、死亡数



(3) 社会増加、自然増加

- 京都市を含む2都市で社会増加数がマイナス -

人口1,000人当たりの転入数から転出数を差し引いた社会増加数をみますと、最も高いのは東京都の8.7人で、次いで川崎市(8.0人)、横浜市(6.8人)となっています。逆に、最も低いのは、北九州市のマイナス3.4人で、あとは京都市がマイナス0.9人で転出超過となっています。

また、人口 1,000 人当たりの出生数から死亡数を差し引いた自然増加数をみますと、最も高いのは川崎市の 5.4 人で、次いで仙台市(4.6 人)、広島市(4.1 人)となっています。逆に、最も低いのは、北九州市の 0.5 人で、次いで東京都(0.6 人)、京都市、大阪市(ともに 1.0 人)となっています。

表 - 2 及び表 - 3 参照

**表 - 2 人口1,000人当たりの社会増加数の
12年, 13年比較**

(単位 人)

都市名	12年	13年	都市名	12年	13年
京都市	0.3	0.9	名古屋市	0.2	0.6
札幌市	3.0	3.9	大阪市	0.5	3.5
仙台市	0.0	1.1	神戸市	4.4	5.2
千葉市	4.0	5.8	広島市	0.6	0.7
東京都	7.5	8.7	北九州市	3.2	3.4
川崎市	3.5	8.0	福岡市	3.6	6.0
横浜市	4.7	6.8			

**表 - 3 人口1,000人当たりの自然増加数の
12年, 13年比較**

(単位 人)

都市名	12年	13年	都市名	12年	13年
京都市	1.2	1.0	名古屋市	2.7	2.4
札幌市	2.4	2.5	大阪市	1.1	1.0
仙台市	4.8	4.6	神戸市	1.5	1.2
千葉市	4.3	4.0	広島市	4.2	4.1
東京都	0.8	0.6	北九州市	0.5	0.5
川崎市	5.4	5.4	福岡市	3.9	4.0
横浜市	4.1	3.8			

(4) 婚姻件数

- 京都市は増減の変化なし -

厚生労働省が所管する人口動態調査による人口 1,000 人当たりの婚姻件数をみますと、川崎市が 8.9 件で最も高く、次いで東京都(7.7 件)、仙台市(7.5 件)、大阪市、福岡市(ともに 7.4 件)となっています。逆に、最も低いのは北九州市の 6.0 件で、次いで京都市(6.3 件)、神戸市(6.5 件)となっています。前年と比較しますと、千葉市、京都市、大阪市、北九州市は増減に変化がなく、福岡市が 0.3 ポイント増加し、仙台市、東京都、川崎市、名古屋市、神

戸市(ともに 0.1 ポイント増)と続いています。

減少している都市をみますと、広島市(0.2 ポイント減)、札幌市、横浜市(ともに 0.1 ポイント減)となっています。

13 ページ参照

(5) 離婚件数

- 京都市を含む 12 都市で増加 -

人口動態調査による人口 1,000 人当たりの離婚件数をみますと、大阪市が 3.1 件で最も高く、次いで札幌市(3.0 件)、北九州市(2.9 件)、福岡市(2.7 件)となっています。逆に、最も低いのは仙台市の 2.2 件で、次いで千葉市、横浜市(ともに 2.3 件)となっています。前年との比較では、増減に変化のない千葉市を除く 12 都市が、広島市、北九州市の 0.3 ポイント増を筆頭に増加しています。

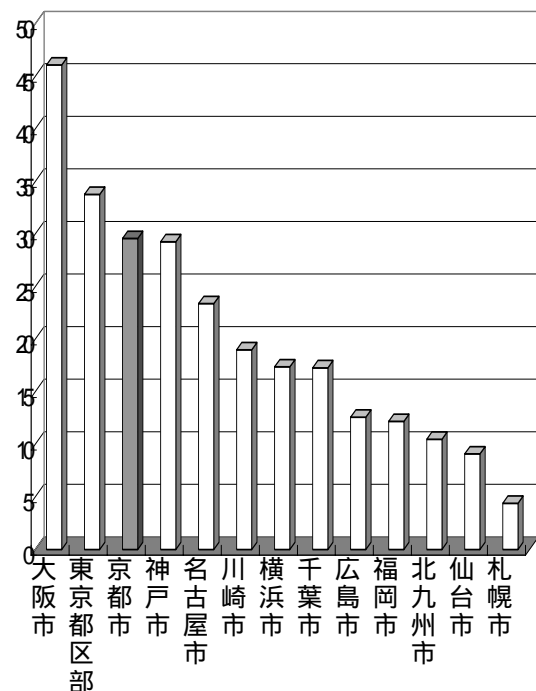
13 ページ参照

(6) 外国人登録人口

- 13 都市すべてで増加 -

平成 13 年 12 月末現在の人口 1,000 人当たりの外

**図 - 2 人口 1,000 人当たりの外国人登録人口
(人)**



国人登録人口をみますと、最も多いのは大阪市の46.0人で、次いで東京都(33.7人)、京都市(29.6人)、神戸市(29.3人)の順となっています。逆に、最も少ないのは札幌市の4.4人で、次いで仙台市(9.1人)、北九州市(10.5人)となっています。また、前年と比較して最も増加しているのは、東京都の2.3ポイント増で、次いで千葉市(1.6ポイント増)、川崎市(1.5ポイント)、横浜市(1.3ポイント)と続いており、13大都市すべての都市で前年より増加しています。

前ページの図 - 2 及び 13 ページ参照

2 工業統計調査

- 13 大都市すべてで事業所数で減少

(前回平成 11 年調査と比較) -

製造業に属する従業者 4 人以上の事業所を対象に平成 13 年 12 月 31 日現在で行われた工業統計調査の結果によりますと、事業所数が最も多いのは東京都で 22,377 事業所、次いで大阪市(10,976 事業所)、名古屋市(7,236 事業所)となっており、京都市は 3,916 事業所で 5 番目になっています。

事業所数の対前回増加率をみますと、13 大都市すべてにおいてマイナスとなっています。減少率が最も高いのは東京都の 12.8 ㊦減で、次いで仙台市(11.9 ㊦減)、札幌市(11.3 ㊦減)となっています。一方、減少率が最も少ないのは広島市(5.5 ㊦減)以下、北九州市(7.7 ㊦減)、名古屋市(8.5 ㊦減)となっています。

続いて、従業者数の対前回増加率をみますと、事業所数と同様に 13 大都市すべてでマイナスとなっています。減少率が最も高いのは川崎市の 24.0 ㊦減で、次いで仙台市(11.6 ㊦減)、東京都(10.7 ㊦減)と続き、10 ㊦以上の大幅な減少となっています。逆に減少率が最も低いのは札幌市で 2.5 ㊦減となっています。

表 - 4 参照

表 - 4 製造業の事業所数及び従業者数
(従業者4人以上の事業所)

12月31日

都市名	事業所数		従業者数	
	平成 11 年	平成 13 年	平成 11 年	平成 13 年
京都市	4,318	3,916	87,021	82,207
札幌市	1,709	1,516	38,958	37,978
仙台市	940	828	25,694	22,711
千葉市	683	623	22,898	21,274
東京都	25,665	22,377	397,660	354,922
川崎市	2,298	2,098	90,463	68,784
横浜市	4,594	4,080	139,935	126,872
名古屋市	7,905	7,236	151,931	139,646
大阪市	12,137	10,976	212,357	195,867
神戸市	2,886	2,637	76,541	73,447
広島市	1,747	1,651	56,322	52,082
北九州市	1,563	1,443	63,947	60,363
福岡市	1,469	1,310	33,520	31,292

3 消費者物価地域差指数と家計調査

- エンゲル係数 1 位は、7 年連続で京都市 -

各都市間の物価水準の高低を比較する消費者物価地域差指数における全国を 100 とした平成 13 年の総合指数をみますと、最も高いのは、東京都の 109.5 で、以下、大阪市(108.0)、横浜市(107.7)となっており、京都市は 104.8 で大都市中 6 番目となっています。逆に、最も低いのは広島市の 99.6 で、以下、北九州市(100.6)、千葉市(102.2)となっています。

食料のみの指数をみますと、最も高いのは総合指数と同じく東京都の 107.6 で、以下、京都市(107.1)、大阪市(106.5)となっています。逆に、最も低いのは広島市の 98.6 で、以下、仙台市(101.5)、千葉市(101.8)となっています。

次ページの表 - 5 参照

次に、家計調査による全世帯平均 1 か月間の消費支出金額からエンゲル係数(家計に占める食料費の割合)をみますと、京都市は前年より 0.7 ポイント上昇し、27.0 ㊦で、京都市の 1 位は 7 年連続で続いています。

以下、大阪市(25.5 ㉯), 北九州市(25.0 ㉯), 名古屋市, 神戸市(ともに24.4 ㉯)と続いています。逆に、最も低いのは、福岡市(20.6 ㉯)で、次いで札幌市(21.0 ㉯), 広島市(21.2 ㉯)となっています。

表 - 6 参照

表 - 5 消費者物価地域差指数

(全国 = 100)

都市名	総合		食料	
	平成 12 年	平成 13 年	平成 12 年	平成 13 年
京都市	104.7	104.8	106.9	107.1
札幌市	103.4	103.1	102.7	103.0
仙台市	103.0	103.6	99.8	101.5
千葉市	102.5	102.2	101.5	101.8
東京都	109.6	109.5	107.1	107.6
川崎市	106.5	106.2	104.4	104.6
横浜市	107.9	107.7	104.6	105.3
名古屋市	104.7	105.1	103.7	103.8
大阪市	107.8	108.0	106.4	106.5
神戸市	104.1	103.6	102.3	102.8
広島市	99.1	99.6	99.3	98.6
北九州市	101.8	100.6	104.3	102.8
福岡市	104.4	103.0	105.0	102.8

表 - 6 家計調査による全世帯1か月当たりのエンゲル係数

(単位 %) (単位 %)

都市名	平成 11 年	平成 12 年	平成 13 年
京都市	27.2	26.3	27.0
札幌市	21.5	22.6	21.0
仙台市	22.4	22.9	22.9
千葉市	24.1	24.7	23.1
東京都	24.4	23.4	23.7
川崎市	23.6	24.5	23.3
横浜市	22.8	23.7	23.8
名古屋市	26.0	23.9	24.4
大阪市	27.2	25.9	25.5
神戸市	25.5	25.5	24.4
広島市	22.9	22.0	21.2
北九州市	25.3	24.6	25.0
福岡市	23.8	22.6	20.6

4 新設住宅着工戸数

- 京都市を含め、11 都市がマイナス -

平成 13 年の建築着工統計における平成 13 年中の新設住宅着工戸数対前年増加率をみますと、最も高いのは千葉市の 6.8 ㉯増で、川崎市(2.7 ㉯増)と続きますが、この 2 都市以外の 11 都市はすべてマイナスになっています。減少率が高いのは、北九州市が 27.6 ㉯減, 以下、神戸市(12.6 ㉯減), 福岡市(10.5 ㉯減)と続いています。逆に、減少率が最も低いのは、札幌市の 1.0 ㉯減で、次いで京都市(3.3 ㉯減)となっています。

表 - 7 参照

表 - 7 新設住宅着工戸数

(単位 戸数 = 戸, 増加率 = %)

都市名	平成 11 年	平成 12 年	平成 13 年	対前年増加率
京都市	15,778	14,273	13,803	3.3
札幌市	18,996	20,281	20,073	1.0
仙台市	12,802	12,107	11,660	3.7
千葉市	8,104	9,645	10,300	6.8
東京都	104,461	119,268	114,210	4.2
川崎市	17,070	18,723	19,222	2.7
横浜市	40,497	45,564	42,818	6.0
名古屋市	25,514	27,181	24,576	9.6
大阪市	30,603	33,243	31,167	6.2
神戸市	16,713	15,719	13,736	12.6
広島市	11,550	11,060	10,263	7.2
北九州市	7,335	8,219	5,950	27.6
福岡市	19,594	21,085	18,862	10.5



5 職業紹介状況

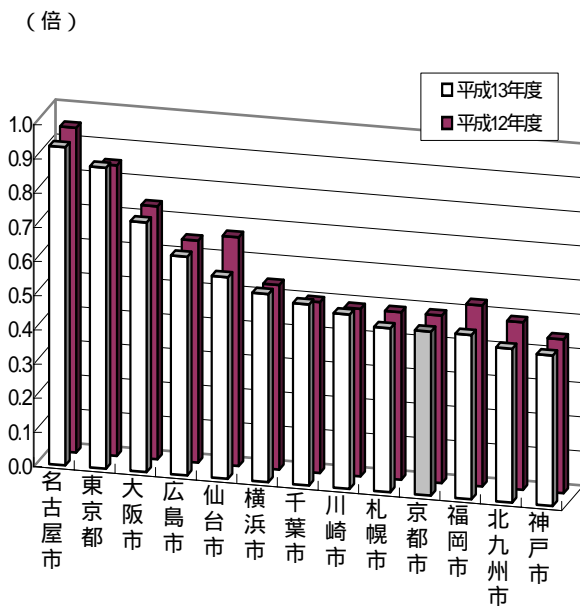
- 有効求人倍率，京都市は9番目 -

労働力需給を示す有効求人倍率（有効求人数 / 有効求職者数）をみますと，大都市中最も高いのは名古屋市の0.93倍で，以下，東京都（0.88倍），大阪市（0.73倍），広島市（0.64倍）となっています。逆に，最も低いのは神戸市の0.44倍で，以下，北九州市（0.45倍），札幌市，京都市，福岡市（ともに0.48倍）となっています。

図 - 3 参照

大都市比較統計年表 10 表を参照してください。

図 - 3 有効求人倍率



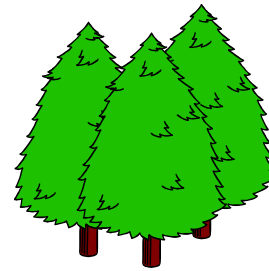
6 自動車台数

- 東京，大阪が少なく，名古屋が多い -

平成13年度末の市民10人当たりの自動車台数をみますと，最も多いのは，名古屋市の5.8台で，以下，仙台市（5.7台），北九州市（5.5台），広島市（5.4台），札幌市（5.3台），千葉市（5.2台）となっており，2人で1台以上の割合となっています。一方，最も台数が少ないのは，東京都（3.4台）で，以下，大阪市（3.5台），川崎市（3.7台）となっています。

また，京都市は前年と同じ4.2台で，横浜市と並んで13大都市中8番目となっています。

13 ページ参照



7 都市公園

- 市民1人当たり面積は神戸市が広い -

平成13年度末の市民1人当たりの都市公園面積をみますと，最も広いのは神戸市の16.48㎡で，以下，北九州市（10.47㎡），仙台市（10.41㎡），札幌市（10.33㎡）となっています。逆に，最も狭いのは東京都の3.03㎡で，以下，大阪市（3.47㎡），川崎市（3.58㎡），京都市（4.03㎡）となっています。

13 ページ参照

8 下水道普及率

- 99.2%で，京都市は大都市中6番目 -

各都市の平成13年度の下水道普及率（排水区域人口 / 推計人口）をみますと，最も高いのが東京都の100%で，以下，大阪市（99.9%），横浜市，名古屋市（ともに99.6%）となっており，京都市は，99.2%で6番目となっています。逆に，最も低いのが千葉市の87.8%で，以下，広島市（90.0%），仙台市（93.9%）となっています。

14 ページ参照

9 ごみ収集量

- 京阪神の3都市が、上位を占める -

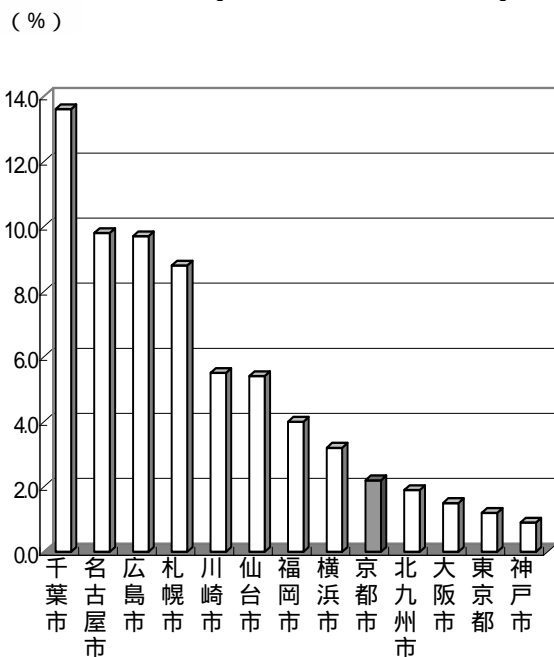
平成13年度の1人1日当たりのごみの量をみますと、最も多いのは大阪市の1.83kgで、以下、神戸市(1.70kg)、札幌市(1.47kg)となっており、京都市は1.46kgで4番目となっています。逆に、最も少ないのは、名古屋市の1.06kg、次いで広島市(1.09kg)、川崎市(1.11kg)となっています。ごみの再資源化率(再資源化量/総処分量)をみますと、最も高いのは千葉市の13.6%で、以下、名古屋市(9.8%)、広島市(9.7%)となっており、逆に、最も低いのは神戸市の0.9%となっています。

京都市は2.2%で9番目となっています。

図4及び14ページ参照

大都市比較統計年表 10を参照してください。

図-4 ごみの再資源化率
(再資源化量/総処分量)



10 小学校、中学校の児童・生徒数

- 減少が続く小学生、中学生 -

小学校の児童数は、千葉市、川崎市、横浜市を除

く10都市で前年より減少しており、京都市は前年より0.9%減少の72,302人となっています。また、中学校の生徒数については、13大都市すべてで前年より減少しており、京都市は前年より1.8%減少の41,214人となっています。

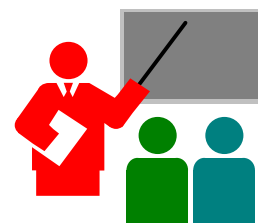
小学校の1教員当たりの児童数をみますと、最も多いのは福岡市の22.48人で、京都市は19.33人と少ない方から2番目となっています。また、中学校の1教員当たりの生徒数も、福岡市が18.52人で最も多く、京都市は16.19人で、1番少ない都市となっています。

表8及び14ページ参照

表-8 小学校の児童数及び中学校の生徒数

5月1日

都市名	小学校(児童数)		中学校(生徒数)	
	平成12年	平成13年	平成12年	平成13年
京都市	72,942	72,302	41,970	41,214
札幌市	100,384	99,170	58,069	56,443
仙台市	57,801	57,246	32,567	31,524
千葉市	47,494	47,880	25,335	25,036
東京都	351,042	350,828	208,151	203,442
川崎市	63,108	64,017	29,805	29,373
横浜市	181,241	182,425	93,766	92,356
名古屋市	118,839	118,293	65,238	63,725
大阪市	127,049	126,153	70,756	69,925
神戸市	82,955	82,072	48,055	46,587
広島市	68,433	67,907	38,258	37,350
北九州市	55,622	54,867	31,637	30,388
福岡市	74,923	74,619	42,393	41,247



11 高等学校卒業者の進学率

- 京都市は2.9ポイント差で1番目に -

平成13年5月1日現在の学校基本調査結果から、平成13年に高等学校を卒業した人のうち、大学や短期大学へ進学した人の割合をみますと、京都市は59.5%で、広島市(56.6%)を2.9ポイント上回り3年連続で1位となっています。

14 ページ参照



12 介護保険事業

- 京都市の要介護認定者数は40,934人 -

平成13年度末の京都市の要介護(要支援)認定者の総数は40,934人となっています。人口1,000人当たりの数でみますと、北九州市が31.7人で最も多く、次いで京都市(27.9人)、大阪市(27.3人)と続いています。逆に、最も少ないのは千葉市の14.7人で、以下、川崎市(15.4人)、仙台市(18.0人)となっています。

平成13年度の京都市の保険給付支払状況(支払済額累計)は、58,645,368千円となっています。要介護(要支援)認定者の総数ひとり当たり保険給付支払状況をみますと、最も多いのは、福岡市、札幌市(ともに1,506千円)で、以下、京都市(1,433千円)、広島市(1,430千円)となっています。逆に最も少ないのは、大阪市の1,171千円で、以下、横浜市(1,217千円)、川崎市(1,260千円)となっています。

14 ページ参照

大都市比較統計年表 .10, 11 表を参照してください。

13 犯罪発生認知件数(刑法犯)

- 京都市の犯罪件数、増加続く -

平成13年中の京都市の犯罪(刑法犯)発生認知件数は40,203件で、前年に比べて3,693件増加しています。

また、人口1,000人当たりの犯罪(刑法犯)発生認知件数をみますと、最も多いのは大阪市の52.3件で、以下、福岡市(41.2件)、名古屋市(36.3件)となっています。逆に、最も少ないのは横浜市の20.3件で、京都市は27.4件と少ない方から5番目となっています。

14 ページ参照

大都市比較統計年表 .1 表を参照してください。

14 交通事故

- 人口当たりの発生件数は京都市が4番目に多い -

平成13年中の京都市における交通事故(人身事故)の発生件数は11,950件で、前年に比べて46件増えています。

また、人口1,000人当たりの発生件数をみますと、最も多いのは、福岡市の10.9件で、以下、北九州市(9.7件)、名古屋市(9.1件)、になっています。また、逆に一番少ないのは、仙台市の6.1件で、以下、川崎市(6.6件)、札幌市(6.7件)、千葉市(6.9件)となっています。

14 ページ参照

大都市比較統計年表 .3 表を参照してください。

15 火災発生件数

- 京都市は火災の一番少ない街 -

平成13年中の京都市の火災発生件数は326件で、前年に比べ9件減少しており、大都市の中では一番火災発生件数が少なくなっています。

また、人口1万人当たりの火災発生件数をみても京都市が2.2件で一番少なく、以下、札幌市(3.1件)、横浜市(3.4件)となっています。逆に、最も多いのは、大阪市の6.5件で、次いで東京都(6.4件)、名古屋市(6.1件)となっています。

表9及び14ページ参照



表-9 火災発生件数

(単位 件)

都市名	平成11年	平成12年	平成13年
京都市	329	335	326
札幌市	561	618	577
仙台市	350	410	423
千葉市	383	369	444
東京都	5,009	4,978	5,216
川崎市	463	443	466
横浜市	1,021	1,107	1,181
名古屋市	1,169	1,324	1,331
大阪市	1,704	1,623	1,700
神戸市	725	782	811
広島市	605	553	629
北九州市	503	500	602
福岡市	467	546	486

16 救急出動件数

- 京都市も出動件数が増加 -

平成13年中の京都市の救急出動件数は59,985件で、前年に比べると2,448件増えており、大都市の中で6番目に多い件数となっています。

また、人口10万人当たりの出動件数が最も多いのは、大阪市の6,702件で、以下、東京都(5,556件)、千葉市(4,494件)となっており、京都市は4,087件で、大都市の中で4番目に多くなっています。

14ページ参照



大都市比較統計年表 .13 表を参照してください。

今回紹介した「大都市比較統計年表」平成13年版は総務局総務部行政改革課情報公開コーナーで閲覧、販売(一冊1,200円)しています。

都市名	出生	死亡	婚姻	離婚	外国人 登録人口	製造業における 製造品出荷額等 (13年中) 従業者1人当たり
	人口1,000人 当たり	人口1,000人 当たり	人口1,000人 当たり	人口1,000人 当たり	人口1,000人 当たり	
京都市	人 8.7	人 7.7	件 6.3	件 2.4	人 29.6	万円 2,883.3
札幌市	8.3	5.9	6.8	3.0	4.4	1,783.5
仙台市	10.0	5.4	7.5	2.2	9.1	3,979.4
千葉市	9.5	5.6	6.9	2.3	17.3	4,062.5
東京都	7.9	7.3	7.7	2.5	33.7	2,617.7
川崎市	11.0	5.6	8.9	2.5	18.9	5,563.4
横浜市	9.7	6.0	7.3	2.3	17.4	3,545.9
名古屋市	9.5	7.2	6.9	2.4	23.4	2,723.4
大阪市	9.5	8.5	7.4	3.1	46.0	2,683.8
神戸市	8.7	7.5	6.5	2.5	29.3	3,586.5
広島市	10.5	6.4	6.9	2.4	12.6	3,321.7
北九州市	9.0	8.6	6.0	2.9	10.5	3,053.8
福岡市	9.9	5.9	7.4	2.7	12.2	2,433.1
比較年表 参照表	.6表		.5表		.4表	.1表

都市名	公共職業安定 所における労 働者の就職率 (13年度)	自動車台数 (13年度末) 市民10人 当たり	道路舗装率 (14年4月1日) 舗装面積 / 総面積	都市公園 (13年度末) 市民1人 当たり面積	電気 1世帯1か月 家庭消費量	ガス 1世帯1か月 家庭消費量
	%	台	%	m ²	kWh	メジュール
京都市	26.3	4.2	97.18	4.03	443	1,370
札幌市	38.6	5.3	85.26	10.33	342	1,053
仙台市	22.4	5.7	97.15	10.41	371	1,529
千葉市	16.6	5.2	92.30	8.68	327	1,706
東京都	18.8	3.4	97.61	3.03	419	1,402
川崎市	18.0	3.7	95.83	3.58	369	1,407
横浜市	18.7	4.2	99.28	4.44	385	1,555
名古屋市	19.5	5.8	99.06	6.73	904	1,344
大阪市	22.3	3.5	97.76	3.47	444	1,321
神戸市	18.7	4.1	92.04	16.48	421	1,491
広島市	27.3	5.4	97.82	7.45	438	1,155
北九州市	23.9	5.5	97.61	10.47	432	1,127
福岡市	19.0	4.9	97.99	8.57	522	1,085
比較年表 参照表	.8表	.12表	.1表	.11表	.1表	.2表

この表は、大都市統計協議会が毎年刊行している「大都市比較統計年表」(平成13年版)から一部加工して作成しています。人口1000人当たり,あるいは人口1人当たりなどと表示していますので,御注意ください。

都市名	下水道 (13年度末)	ごみ収集量 (13年度)	小学校	中学校	進学率 (大学・短大)	保育所 (13年度末)	生活保護 (13年度平均)
	排水区域人口/ 推計人口	1人1日 当たり	1教員当たり 児童数	1教員当たり 生徒数	13年3月 高校卒業者	人口1,000人 当たり定員	人口1,000人 当たり
	%	kg	人	人	%	人	人
京都市	99.2	1.46	19.33	16.19	59.5	16.21	21.1
札幌市	99.4	1.47	21.66	18.48	46.9	7.53	22.1
仙台市	93.9	1.24	20.26	17.18	43.9	7.58	7.5
千葉市	87.8	1.21	20.71	17.08	45.4	9.95	7.4
東京都	100.0	1.18	19.18	17.07	53.5	12.15	13.7
川崎市	97.9	1.11	20.45	16.74	45.8	8.56	14.1
横浜市	99.6	1.32	21.06	17.99	51.3	6.69	10.1
名古屋市	99.6	1.06	21.20	18.16	51.5	14.41	8.6
大阪市	99.9	1.83	19.63	16.50	47.6	13.84	28.2
神戸市	98.1	1.70	20.31	16.97	53.6	10.44	20.6
広島市	90.0	1.09	21.33	18.44	56.6	14.89	10.5
北九州市	98.0	1.41	20.82	17.66	41.1	15.09	12.5
福岡市	98.9	1.40	22.48	18.52	50.3	15.93	16.3
比較年表 参照表	.4表	.10表	.2表	.3表	.9表	.4表	.2表

都市名	介護保険要介護 (要支援)認定者数	介護保険給付 支払状況	医療施設数 (13.10.1)	刑法犯犯罪 (認知件数)	交通事故 (人身事故)	火災 (発生件数)	救急 (出動件数)
	人口1,000人 当たり	保険給付支払状況 /要認定者数	人口10万人 当たり	人口1,000人 当たり	人口1,000人 当たり	人口1万人 当たり	人口10万人 当たり
	人	千円	か所	件	件	件	件
京都市	27.9	1,432.7	177.6	27.4	8.1	2.2	4,087
札幌市	20.8	1,505.6	138.0	23.8	6.7	3.1	3,494
仙台市	18.0	1,347.3	136.6	28.3	6.1	4.2	3,166
千葉市	14.7	1,326.0	129.4	34.5	6.9	5.0	4,494
東京都	21.4	1,326.8	213.2	26.5	7.4	6.4	5,556
川崎市	15.4	1,259.9	118.6	20.9	6.6	3.7	3,958
横浜市	18.5	1,217.2	127.4	20.3	7.3	3.4	4,072
名古屋市	20.5	1,366.4	154.2	36.3	9.1	6.1	3,774
大阪市	27.3	1,171.1	211.4	52.3	7.5	6.5	6,702
神戸市	25.7	1,271.6	163.6	28.4	7.5	5.4	3,927
広島市	22.3	1,429.5	165.0	28.6	8.1	5.6	3,430
北九州市	31.7	1,331.2	173.2	34.6	9.7	6.0	3,947
福岡市	19.1	1,505.8	169.0	41.2	10.9	3.6	3,637
比較年表 参照表	.10表	.11表	.3表	.1表	.3表	.12表	.13表

この表は、大都市統計協議会が毎年刊行している「大都市比較統計年表」(平成13年版)から一部加工して作成しています。人口1000人当たり,あるいは人口1人当たりなどと表示していませんので,御注意ください。